

各派代表質問

2月15日、16日、17日の本会議において、令和5年度予算議案に対する各派代表質問が行われました。各会派の質問者は次のとおりです。

① 日本共産党
鎌倉市議会議員団
(武野 裕子 議員)



② 鎌倉
アップデートチャレンジ
(藤本 あさこ 議員)



③ 夢みらい鎌倉
(中里 成光 議員)



④ 神奈川ネットワーク
運動・鎌倉
(保坂 令子 議員)



新年度予算に対する各会派の評価と見解

日本共産党

子どもの医療費の無料化

所得制限なしで18歳まで拡大

日本国内の物価高騰は40年来で最大。生活や営業が苦しくなる中で、自治体の役割が改めて問われました。

子どもの医療費助成は県の助成対象が拡充したことから、10月から18歳まで所得制限なしで助成することになり長年の市民の願いが実現しました。

⑤ 鎌倉のヴィジョンを
考える会
(久坂 くにえ 議員)



⑥ 自由民主党
鎌倉市議会議員団
(森 功一 議員)



⑦ 公明党
鎌倉市議会議員団
(児玉 文彦 議員)



(代表質問順)

鎌倉アップデート

政策立案には

エンパシーをもつて!

会派「鎌倉アップデートチャレンジ」は設立2年目となり、2回目の代表質問に登壇しました。今回も前回に引き続き徹底的に当事者目線で予算を審議し、原案に賛成しましたが、たくさんの要望をしました!

●上から目線で施策を作らないで!!
とにかく今の鎌倉市の政策立案はマジョリティ目線のものが多いという指摘がありました。強者が弱者に付与する支援、のような設計が多いため、当事者目線で設計してほしいことを強く要望しました。

●子どもの保育の受け皿を増やして!!
待機児童の解消を目指して久しいです。いつまでたっても解消されないということは、そもそもの政策の設計がおかしいのです。少子化だからと保育ニーズが減るのを待つのではなく、いっしょに増減早く対応して!と強く要望しました。

ゆめみらい

持続可能なまち鎌倉の創造に向けた

「ミライへ育む」予算編成に残した意見

令和5年度の予算編成は「ミライへ育む予算」と提案されました。ポストコロナを見据え、社会活動が大きく新しい時代へとかじを切るタイミングだと意識して予算特別委員会の審査に臨みました。

●インクルーシブ社会を目指す覚悟をもつて!!
鎌倉市は共生社会を目指しています。それに対して否定的な声がかかることもありますが、革の手綱を放手してしまうのであればマイノリティの生きづらさは変わりません。批判を受ける覚悟をもって、市政改革を推進していただくことです。松尾市長よろしくお願ひします!!

●「現在地利活用基本計画の早期決定」について
1点目は「現在地利活用基本計画の早期決定」についてです。本庁舎はじめ、鎌倉駅周辺の公共施設の老朽化は待たなしの段階であります。その再編のイメージを市民にお伝えするには早急な本計画の決定が必要です。その中身としては市民への行政サービスの充実と市民が集える、そして憩いの場が充実する現在地利活用の決定を求めました。

●「市民参加型共創プラットフォーム運用」について
2点目は「市民参加型共創プラットフォーム運用」についてです。現在行われている西鎌倉地域でのスマートシティに向けた取り組みが全体的に行われ、多様な市民の声が市政に生かされる仕組みを目指して欲しいと要望しました。

●「津波避難経路誘導」について
3点目は「津波避難経路誘導」についてです。津波避難誘導に関する取り組みはさまざまありますが、これまでさまざまな取り組みを行っていただいている事は理解した上で、普段から鎌倉にいない観光客や海水浴客には大津波が想定

●「職員働き方」「子育てしやすい環境整備」
最後に予算執行に当たってはさらに市民の声をよく聞き、広報も伝えるだけでなく、全ての市民に伝わる事を目指して、理解してもらえよう取り組んでいただくことを要望し、本予算審議の採決に当たり討論を終えました。

●「学校給食の無償化、高齢者の「聞こえ」の支援・補聴器購入補助、市史編さん事業、平和推進事業を進めることを求めました。